

澤口友彌(中21回)絵画15点 恵那高校に寄贈される



積み上げる祈り 2階渡り廊下突き当たり

平成18年11月、スペイン在住の中21回生 澤口友彌氏より恵那高校に絵画を寄贈したいとの申し出があり、校内の展示できる場所を選定した上で澤口氏がその場所に適した絵画15点を選定され、平成19年2月に設置された。残念ながら澤口氏はその様子を見られることなく、平成19年1月にご逝去された。

生前、澤口氏より「作品劣化より光の反射で生の絵をみても見えないことの方が悲しい。絵はガラスやアクリル板などで覆わず、誰にでも油絵の具の凸凹に触ってもらえるように展示して欲しい。」という要望があり、ご遺志の通り生の絵がそのまま展示されている。今後、作品名を入れた銘板や作品紹介、および澤口氏の経歴などをパネルにして校内に展示する予定となっている。また、恵那高校以外にも恵那市の小中学校等に展示してもらうように、恵那市にも絵画を寄贈されている。



- 第19号 -

発行/岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地/岐阜県恵那市大井町1023-1
〒509-7201
TEL・FAX: 0573-25-0253
E-mail: c27331@gifu-net.ed.jp
発行責任者 阿部 伸一郎

澤口友彌略歴
1929年 恵那郡加子母村(現中津川市)出身。旧姓・古田。
1947年 旧制恵那中学校第21回卒。
1954年 岡崎高等師範学校(現名古屋大学教育学部)人文地理及び化学卒。教員のかたわら油絵を独習。
1972年 第48回白日展(東京上野美術館)に初出品で受賞。以後、公募展には出品せず、生涯無所属。
1976年 「画家」をめざし、スペインへ渡る。アトリエをマドリッド市にかまえる。



生
校長室前
歴巡の

同窓会報「城陵」10周年

平成13年より創立80周年記念事業に向けて発行が始まった本紙は、多くの同窓生の方々の協力金(一〇二,〇〇〇円)に支えられ、発行を続けてまいりました。昨年度は会報発行のための協力金のご寄付が700口を超え、今回、第19号の発行が実現できました。ご寄付をいただきました方々に、改めて深く御礼申し上げます。同窓会報「城陵」は皆様のご寄付によって支えられております。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会報協力金振込先

会報協力金口座(株式会社同窓会事務局代行口座)
ゆうちょ銀行
岐阜県立恵那高等学校同窓会 □座番号 00170-4-300048

同窓会HP開設

2022年の100周年に向けて同窓会のHPを新たに開設しました。同窓会の案内など会員間での情報交換にも利用してください。こちらから校歌と共に現在の校舎の様子が見られます。↓
HPの友達も募集しています。

LINE@はじめました!
毎日の情報をお伝えします!
「城陵」の最新情報をお届けします!
毎日の情報、同窓会の情報も随時お届けしています。
ぜひ、御覧ください。

LINE@の友達募集方法
LINEアプリの「QRコード」から「検索」して「追加」してください。
またはID検索で! ID: @qt05633s

第1〜3回在西日本人美術家選抜展委員長など日西文化交流関係事業の企画実施多数。
1982年から東京・大阪・京都・名古屋を中心に50会場以上で個展を開催。
1992年 恵那高校創立70周年記念美術展に出品。
1994年 恵那文化センターで花の木3人展。
2017年 恵那公共施設に作品展示。
2019年 89歳にて逝去。



個人11名に授与

この1年間に県レベルの大会などで優勝、全国大会に出場、またはそれと同等の成果を上げたものを表彰するStudent of the Year。今年個人11名に授与された。平成31年2月28日の表彰式では阿部同窓会長から受賞者代表のボート部3年永治旭さんに賞状と副賞の図書券が授与された。受賞者の皆さんは以下の通り。なお、団体の受賞はなかった。

- ①永治 旭(34組)
第29回全国高等学校選抜ボート大会 男子ダブルスカル5位
平成30年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技 男子ダブルスカル優勝
平成30年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会 男子ダブルスカル出場
第73回国民体育大会少年男子舵手つきクオドルプル5位
②西尾颯馬(34組)
第29回全国高等学校選抜ボート大会 男子ダブルスカル5位
平成30年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技 男子ダブルスカル優勝
平成30年度全国高等学校総合体育大会ボート競技 男子ダブルスカル出場
③中島みなみ(34組)
第29回全国高等学校選抜ボート大会 女子ダブルスカル出場
平成30年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技 女子シングルスカル優勝
④近藤里奈(36組)
第29回全国高等学校選抜ボート大会 女子ダブルスカル出場
SSH東海フェスタ2018 口頭発表 優秀賞
⑤後藤凱哉(23組)
大会 男子ダブルスカル出場
第73回国民体育大会少年男子舵手つきクオドルプル5位
⑥下畑文乃(36組)
第66回岐阜県高等学校総合体育大会陸上競技の部兼全国・東海高等学校総合体育大会陸上競技岐阜県予選会 女子800m優勝(3連覇)
平成30年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会秩父宮賜杯第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 女子800m出場
SSH東海フェスタ2018 口頭発表 優秀賞
⑦伊藤日菜子(24組)
第47回岐阜県高等学校新人陸上競技対校選手権大会兼第21回東海高等学校新人陸上競技選手権大会



- 平成30年度岐阜県高等学校新人大会ボート競技 男子シングルスカル優勝
第32回中部高校選抜大会 男子シングルスカル6位
⑧山本志保(36組)
SSH東海フェスタ2018 口頭発表 優秀賞
⑨鈴木星奈(32組)
岐阜県予選会 女子200m優勝・女子1000m H優勝
第65回NHK杯全国放送コンテスト アナウンス部門出場
⑩秋山絢香(26組)
FHJ・日清製粉グループ 全国高校生料理コンクール 最優秀賞・岐阜県教育長賞
2018信州総文 第42回全国高等学校総合文化祭 文芸部門 短歌分科会 優秀賞
⑪鈴木映恵(36組)
県教育長賞

恵那地球塾

第一期生決定

昨年、旧制恵那中学校18回生、木股健二氏からの寄付により、「木股健二基金」を創設し、今年度、名称を恵那高校留学制度「恵那地球塾」と決定し、関連する事業を開始しました。留学希望者は3回のELTS(English Language Test for International Students)英語力判定テストおよび学校長、同窓会長による面接を経て、最終的に長期留学候補者2名、短期留学候補者5名が決定しました。11月21日(水)第一期生認定証書授与式が開催され、7名の栄えある第一期生には同窓会長から一人ずつ英文と和文で記された認定証が授与されました。参加した保護者、激励に駆け付けた先生方から祝福の拍手が贈られました。



- 恵那地球塾第一期生
長期留学
12組 宮地 里歩
15組 小栗まほ和
短期留学
12組 後藤 怜生
12組 益田 瞳
15組 今井 陸人
15組 丹羽 祐人
16組 河地駿太郎
第一期生たちは今夏、長期はカナダへ1年間、短期はニュージーランド・オーストラリアへ、2ヶ月間の留学に出発します。



○エンパワーメントプログラム(国内留学体験)
12月26日(水)〜28日(金)の3日間、インド・エジプト・セネガル・フランス・シンガポール出身の留学生6名を招き、グループごとに課題を設定して英語で討論し発表するという国内留学体験を実施しました。1・2年生35名が参加し、英語力や問題解決能力を磨きました。

城 陵 論 壇

2022年に我が恵那高校100周年になります。あと3年でその日を迎えることとなります。

同窓会と致しましては2022年秋に皆様と共に祝うべく、さまざまな準備をしているところでございます。ご存じの通り我が恵那高校は、地域の皆様、卒業生の皆様に愛され続けなければなり

ません。その活動として、同窓会の存在をもっと深く認識して頂きたいと考えております。そのためには活発な卒業生同士の交流や、情報発信などが大切なことと捉えております。

平成も終わり新しい時代を迎える今日この頃ですが、同じ世紀を過ごした我々の共有する仲間意識を持って、この100周年を皆様と共に迎えられたらと思います。そし

平成15年度に高校に「総合的な学習の時間」が導入されて以来、本校では真正面から取り組み着実にその内容を充実してきました。理数科においては、スーパーサイエンス・ハイスクール事業の指定を受けて4期15年が経過しました。その中で行われている「課題研究」ではそれぞれグループごとに研究テーマを設定し、仮説を立て、実験を行い、研究成果をまとめ、ポスター発表やプレゼンテー

ションを行っており、外部の大会等で入賞するなどの成果も上げております。本校でのこれらの「探究型の学習」の歴史は長く、まさに恵那高校の誇れる特長となっております。この学習を通じて身に付けた力で難関大学での口頭試問を突破するなどの成果が出ており、国立大学の推薦試験合格者は県内公立高校において1位か2位の合格者数を出し続けております。

比較対象となる進学校は本校より生徒数が多い高校が大半であるため、現役合格率で比較すると、他校を大きく引き離して1位という結果が続い

て同窓会としましては、もう一つ母校や現役生に対する「後援会」という役割も重要であると思っ



同窓会副会長

高木良直

おります。

この100周年をただの式典と懇親会で終わりの

ではなく、組織の存続と継続を念頭に置き実行委員会のメンバーを構成し、当日、会長の目標である

母校のますますの発展と同窓の皆様が母校への愛情が一層高まるべく、尽力して参る所存であります。

創立100周年に向けて 2022年秋

1,000人以上を集結したいと考えております。微力ではございますが、

何卒、ご協力賜らんとをお願い申し上げます。2019年3月25日



ております。知識を再生するだけの学力では、変化の激しい社会で活躍することは保証されないと

言われ、大学入試改革も進む中、今後国立大学では、3割が推薦入試にな

いると思います。

さらに昨年度、いよいよ「恵那地球塾」が動き出しました。英語検定試験等の選考を経て、長期カナダ派遣2名、短期のニュージージーランド派遣3

さまざまなテーマを英語で議論するエンパワーメントプログラムも35名が参加して昨年12月に実施されました。プログラムに参加した生徒たちは、英語力の向上はもちろんの

てくれました。さらには、地域で活躍する方々を学校に招いてお話を聞いたという「恵那田舎塾」も始まりました。外に向けての視点を「恵那地球塾」で、地元地域に向けての視点を「恵那田舎塾」で育み、グローバルに活躍する人とグローバルに活躍する人を育てたいと考えております。



恵那高等学校校長

纈 纈 康 雄

ることになっております。

推薦入試でも勝負ができるというところは恵那高校生にとって大きな強みになるとともに、社会に出て活躍する基礎が培われて

名とオーストラリア派遣2名が決定しました。平成31年度の夏から各地での留学が始まります。海外からの留学生をチームリーダーとして3日間さ

こと、視野が広がったり、考え方が深まったりと人間的にも成長できました。この3つのプログラムをもつ「恵那地球塾」は、本校に新たな特長を加え

本校の生徒には、これらのプログラムを積極的に活用し、高校生活をさらに充実させて、トータルな人間力を身に付け、不透明といわれる今後の社会を支える人になって欲しいと願っています。

創立記念講演

「8年働けば人生は終わる」

菱川 浩二(高43回)

今年度の創立記念講演会は、本校43回生の菱川浩二さんを講師としてお迎えしました。

菱川さんは名城大学農学部農芸化学科を卒業後、流通企業に就職、その後転職し、公共文化施設の運営、文化に関わる数多くの業務を経験され、現在は音楽企画、現代美術のプロデュースや、アウトリーチアーティストの人材育成事業、施設運営のコンサルティンクを行うなど幅広く活動されています。今回は音楽プロデュース活動の紹介ということで、ピアノリストで東京芸術大学非常勤講師・聖徳大学音楽学部講師の大野真由子さんのピアノも交えた講演会となりました。

ポケモンGoが趣味という菱川さんは、東京はポケモンGo天国だという話題で生徒たちを引きつけます。そしてお金の話。2,570円。これは高校生の1日にかかるお金。何かしていてもしてはなくても、1日にこれだけかかる。大学生は1万円を燃やし続ける大

本来は音楽室などの狭い空間で行われるものらしいのですが、今回は広い体育館でしたが、大野さんのピアノ演奏を直接肌で感じる時間となりました。オルゴールをピアノの響板に載せると体育館全体に音が響くなど、ピアノの持つ不思議さにも触れることができました。

その後、現在のお仕事、アウトリーチプログラムの紹介がありました。アウトリーチとは手を伸ばすという意味で、芸術や音楽を直接届けるものだそうです。

そして、話題はアイデンティティに。アウトリーチで人生が変わったという菱川さん。少しでも多くの人たちに芸術を届けていきたい。それが自分の人生です

べきこと、自分しかできないことだと40歳手前で気付いたそうです。

演題の「8年」とは、どういう数字なのか。人が身体的に働く時間は1日8時間。大学卒業後22、60歳まで働く38年間。1年のうち休日を120日とすると、245日働くことになる。よって、8時間×38年×245日はおよそ3000日。つまり、8年になる。



40歳手前の菱川さんにとっては残り4年しかない。4年しかないところでアイデンティティに気付いたと。棋士の藤井聡太七段、メジャーリーガーの大谷翔平、そして今回のピアノリスト大野さんを例に挙げ、彼らは時間に対する価値をいち早く気付いた人だ。つまり、自分のアイデンティティを確立した人たちだ。自分が自分であることを受け入れられる。自分らしく生きていくという自覚がある。自分であることに一切の迷いが無い。これらを自覚する年齢が人生の目標にもつながると。

人生はロソクのようなもので、8年で消える。高



平成29年度から2回の準備委員会を経て、平成30年5月19日の恵那高等学校同窓会総会に於いて100周年実行委員会の規約と組織が承認され、正式に発足することとなった。

100周年実行委員会発足する

校生の今、2,570円をもったいないと思うなら、それなりの生活ができる。アイデンティティ構築の意識が持てたら、もっといい人生がある。すべてはここから始まる。

講演後には生徒からいくつかの質問がありました。大学の農学部と現在の職業と違うことについて聞かれた菱川さんは、「自分が自分であることに、どこで気付くか。肯定できる道が一番である。高校時代というのはそれを考える時間が十分にあり、周りの意見は周りの意見として、自分で自分を信じてあげることが大切だ。」と生徒たちにエールを送ってくれました。

- 委員長 阿部伸一郎(高27回)
- 副委員長 高木良直(高34回)
- 渉外委員会 榎田基子(高34回)
- 式典委員会 榎田雄雄(高21回)
- 懇親委員会 加藤博晴(高28回)
- 広報委員会 脇田誠(高33回)
- 財務委員会 小坂潤治(高31回)
- 記念誌委員会 古山紀昭(高33回)
- 第1回実行委員会を平成31年1月23日に開催し、懇親会の日時・場所等について協議した。また、渉外委員会では各回同窓生への連絡経路を確立するため、各回理事の確認やホームページを開設するなど、各委員会ごとに活動をはじめていく。

平成31年度 大学入試

(2019.3.28現在)

国公立大学 103名 合格!

岐阜大学医学部	2名	合格	北海道大学	合格
秋田大学医学部		合格	東京理科大学	8名 合格
名古屋市立大学薬学部		合格	明治大学	7名 合格
名古屋大学	9名	合格	青山学院大学	合格

合格した主な大学

岐阜大学	医学部・医学科	2名	北海道大学	総合理系	1名
秋田大学	医学部・医学科	1名	神戸大学	理学部・数学	1名
名古屋市立大学	薬学部・薬学科	1名	名古屋工業大学	工学部・創造工学教育	3名
名古屋大学	文学部・人文	1名	名古屋工業大学	工学部・情報工	1名
名古屋大学	法学部・法律政治	1名	名古屋工業大学	工学部・建築デザイン	1名
名古屋大学	教育学部・人間発達科学	1名	名古屋工業大学	工学部・物理工	1名
名古屋大学	工学部・電気電子情報工	1名	大阪府立大学	現代システム科学域・マネジメント学類	1名
名古屋大学	工学部・物理工	1名	大阪府立大学	地域保健学類・理学療法学	1名
名古屋大学	理学部	1名	学習院大学	理学部・生命科学科	1名
名古屋大学	情報学部・自然情報	1名	東京理科大学	理学部	2名
名古屋大学	医学部・保健検査技術科学	1名	東京理科大学	理工学部	5名
名古屋大学	医学部・保健放射線技術科学	1名	東京理科大学	工学部	1名

合格者数 (延べ人数)

国公立四大	103名(過年度生13名)	私立四大	506名
短期大学	7名	医療・看護専門学校	6名
その他専門学校	8名		



総会に続き、同ホテルを会場に17時30分より高39回生が幹事を務める懇親会が開催された。4年後の100周年に向けて多くの同窓生に声をかけ、173名という過去最高の参加

球塾」の報告があった。
また、昨年度中18回故木股健二氏からの寄付により設立された恵那高校留学制度「恵那地球塾」の報告があった。



者数となった。アトラクションとしてオマールえびによる大道芸があり、最後は大会の歌(城陵歌)を全員で熱唱し、閉会した。

平成30年6月3日(日) 11時30分から、東京霞が関ビル「東海大学校友会館」にて「東京城陵会第21回東京城陵祭」が開催され、56名が参加された。夏目久さんの司会で会がスタートし、物故者への黙祷、会長の伊藤和徳氏の挨拶、来賓の紹介、乾杯の後、一人ずつ自己紹介があった。制限時間30秒のスピーチのところ、かなりオーバーして話される人もいた。阿部会長、額額校長による近況報告もあり、和やかな歓談が続いた。途中には同窓生による太極拳の披露、恒

東京城陵会

阿部伸一郎会長、額額康雄校長による挨拶、支部長紹介の後、29年度事業ならびに決算報告、役員改選、30年度事業案ならびに予算案の承認。さらに恵那高等学校創立100周年記念事業実行委員会の規約および組織の承認が行われ、100周年記念事業実行委員会が正式に立ち上がった。また、昨年度中18回故木股健二氏からの寄付により設立された恵那高校留学制度「恵那地球塾」の報告があった。

同窓会総会

例の「郷土名産品くじ引き抽選会」も行われた。その後校歌を全員で斉唱し、盛会の中間会となった。

土岐市城陵会総会

平成30年6月10日(日)17時から、土岐市サンモールSC 2階「竜庵」において、「第26回土岐市城陵会総会」が開催され、23名の出席者があった。

平成29年度の会務報告・会計報告・監査報告の後、次期役員及び理事が選出され、杵名直美氏が会長に再選された。本会からは阿部会長、中津川恵那高会からは勝会長、瑞浪恵窓会からは三宅副会長、名古屋恵那高会からは鮎澤会長、学校からは額瀬校長が来賓として出席された。来賓祝辞の後、「マンドリーノ・ワイオーレ・すえ」の皆さんによるギター・マンドリンコンサートが行われた。終始和やかに会が進み互いに懇親を深めた。最後に全員で城陵歌を合唱し閉会となった。

中津川恵那高会(重蘇会)総会

平成30年11月17日(土)午後6時から、中津川市「勝宗」において、「第64回中津川恵那高会(重蘇会)総会」が開催された。参加者全員による校歌斉唱に始まり、定期総会として、来賓挨拶、年間活動

報告及び会計報告が行われた。また、今年役員改選(任期3年)の年で勝会長が再任され、副会長2名と事務局長が新たに選任された。

懇親会には38名の参加があり、幅広い参加者の方々が互いに懇親を深めた。最後に全員で城陵歌を合唱し閉会となった。



名古屋恵那高会総会

平成30年11月24日(土)午前11時30分から、名古屋栄「東急REIホテル」において、「第62回名古屋恵那高会総会」が開催された。鮎澤会長ご自身による司会の下、物故者に黙祷、参加者全員により校歌斉唱の後定期総会が行われた。続いて阿部同窓会長、額瀬校長から来賓挨拶があった。

その後余興として昨年に引き続き今年も「MYSペース」による歌が流れる中で、懇親会が勝中津川恵那高会会長の乾杯で始まり、高4回から高18回卒業生の方々まで34名の参加者の方々が互いに懇親を深めた。最後に全員で城陵歌を合唱し閉会となった。

加者の方々が互いに懇親を深めた。最後に全員で城陵歌を合唱し閉会となった。



瑞浪恵窓会総会

瑞浪恵窓会の平成30年度総会は、平成31年3月9日(土)瑞浪市地域交流センター「とさわ」において開催され、41名が参加された。黙祷、会長挨拶、阿部同窓会長の来賓祝辞、来賓紹介の後、平成30年度事業報告、会計報告、役員改選、平成31年度の事業計画及び予算についての審議が行われ、会長に水野光二瑞浪市長を再任し、役員承認が行われた。

また、7月に予定されている市長選に再出馬する水野会長の会として推薦することに全会一致で決定した。

総会後は額瀬校長による恵那高校の近況報告、中20回生土屋文安氏による「不思議な縁」と題しての講演があり、懇親会、城陵歌斉唱で閉会となった。

嘉納治五郎先生の額 存在場所を知りませんか

中22回 古山 精

今年のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺」の中で嘉納治五郎(役所広司)の姿を見て、私は恵那高の柔道場に掲げてあった同校長の揮額約3尺、雄渾達筆で「精力最善活用、進平齋(嘉納校長の号)」と書いてあった。同校長のモットーは「精力善用・自他共栄」であることからみると、額の語句は生徒向けにアレンジされたものと推測される。

ところが、現在、この額は母校にないようで、その存在を知っている人もないらしい。ご存じの方は、是非、お教えいただきたい。

(昭和20年、1945)により「武道」(剣道・柔道)は占領軍により一時禁止(昭和26年解除)された。このため生徒も武道場へ出入りすることがなくなり、額は厄介者のように無視されていた。私は昭和24年(1949)3月、高校1年生として卒業したが、おぼろげな記憶によると、卒業までの間に額はひそかに外され、姿を消していたような記憶もある。

この額の由来は次の通り。

私は諸君のために先生にお願いして、先生の目指す柔道の精神をあの額に書いていただきたい。諸君は柔道により人間形成に努めてもらいたい。

③昭和25年(1950)4月以降に着任の先生、入学者(高校5年生以降)の方たちの中で、この額を見た人がいないだろうか。もし、あれば額が存在している可能性が高いように思う。

①額の写真は中学1年生の卒業アルバム(昭和元年(1926)3月)から掲載されている。

②第2次世界大戦の敗戦(中央部分の拡大)

古山・注①額の写真は中学1年生の卒業アルバム(昭和元年(1926)3月)から掲載されている。

「精力最善活用」の額と平井専之助先生(2列目右から2人目)の写真(昭和11年(1936)柔道部記念写真)



飛燕の縁

中20回 土屋文安

2017年4月17日、私たち昭和17年(1942)恵那中学に入学した同級生8人(加藤庄一、勝野公明、糸魚川淳二、伊藤伸一、土屋文安、和田芳行、楓健治、畑中哲朗)は、かかみがはら航空宇宙博物館で復元工事中の飛燕(陸軍三式戦闘機)を見るために小旅行に出かけた。

その途上、可見市土田のKYB株式会社岐阜南工場を訪ねた。この工場は昭和19年8月から約1年近く、学徒動員で働いた当時の呼

称「萱場航空兵器(株)岐阜工場」である。事前に電話で問い合わせたとき、この工場は見学を受け入れていないとのことであったが、私たちは学徒動員でその工場

で働いていたことを告げ、門前で記念撮影するだけでも結構ですと申し入れたところ、後から昼食を用意するのでゆくりしていつてくれと電話をいただいた。

当日工場を訪問したところ、パワーポイントを使って会社・工場の現況を懇切丁寧に説明していただき、我々もそれぞれ昭和19年当時の思い出などを語った。当時担当した仕事は飛燕の脚の

部品を製造するところであった。萱場製作所は飛燕をはじめ零戦など軍用機の引込み脚を製造しており、その技術を活かして、現在のKYB株式

会社は、各種自動車、飛行機、新幹線車両などのショックアブソーバーのトップメーカーで、世界各国にも進出していることであった。

工場で豪華な昼食弁当も用意していただき、記念品などもいただき、思いもよらぬ歓待に感激したことであった。



飛燕の脚部 70年前製作に携わったもの

その後各務原の航空宇宙博物館の収蔵庫で、展示されている飛燕の脚を見ることのできたが、本来の目的であったこの見学は、KYB訪問の付け足しのようなことになってしまった。

我々のKYB訪問は、中日新聞の取材を受け、記事は写真と共に4月19日の中日新聞東濃版に掲載された。その記事が岐阜工場からKYB本社に送られ、それが代表取締役副社長の加藤孝明氏の目に止まり、氏は大きく関心を持たれたという。というのは、氏のお父上加藤明雅氏が戦争中動

と一緒にKYB岐阜北工場に赴き、副社長と面談し、飛燕のこと、加藤校長のことなど、話は尽きぬほどであった。その夕方

工場の盆踊り大会にも招待いただいた。その席でいろいろと懇談する中で、副社長からお父上は四高(旧制第四高等学校・金沢)を出られたとのこと。これには伊藤君が驚いた。彼は四高出身だからで、「世の中思わぬ繋がりのあるもの」と驚嘆したことであった。

その後前記の8名の中の数名と昼食を共にしながら、KYBのことを話したところ、またまた驚くことがあった。それはメンバーの一人糸魚川君も四高の出身(我が同級生で四高へ進んだのは糸魚川・伊藤の二人だけ)で、彼が寮に入ったときの室長が、加藤明雅氏であったというのである。阿木出身で、国語の先生でもあったので、「恵那弁」の研究論文を書かれており、それを伊藤君が所有していることもわかってきた。



昭和20年(1945)6月13日

「世の中には不思議な縁があるもの」と語り合ったことであった。

※旧制恵那中学昭和17年入学3学級165名(昭和21年卒業の20回生と昭和22年卒業の21回生)の同窓会は「花の木会」と称して、昭和36年の第1回同窓会以降、毎年同窓会を開催してきたが、平成30年の鳩寿の会をもって解散した。この間、恵那市制40周年記念協賛行事として花の木3人展(絵画:澤口友彌、彫刻:長谷川和幸、陶芸:近藤清)を催すなど精力的に活動してこられた。(編集者注)



加藤副社長とは、その後何度かメールを交換し、

加藤副社長からは、是非お会いしたいとの申し入れがあり、7月29日に迎えに来ていただいた。伊藤伸一君

加藤副社長とは、その後何度かメールを交換し、

加藤副社長とは、その後何度かメールを交換し、

母校のイベントス

恵那田舎塾開催

恵那地球塾が世界に目を向けることを目的としているのに対して、「地域を大切に育て、地元で育つてくる人材を育成すること」を目指し地域で活躍する方々を招き、地域の課題について語り合う恵那田舎塾が12月から実施されています。

第1回は平成30年12月20日(木)スターバックスコーヒージャパン株式会社恵那

マネージャーの岩原氏と、地域で様々な活動を積極的に行われている恵那市中央図書館の可知館長にお越し頂き、「こんな地域になっていくといいなあ」というテーマで話に花を咲かせました。

第2回は「地域にある施設をリノベーション(建物の改修)していく事業の企画・運営を通して、移住・定住について考えてみる」をテーマに、1月17日(木)に開催しました。武井理氏(有限会社タケイ電器・株式会社タケイエナジー代表取締役)と河合大輔氏(総合学習塾Paddle Lab代表)をお迎えし開催されました。

第3回は「元気な地域を生み出す公務員！」をテーマに、2月8日(金)に開催しました。中津川市で地域の方々と多く関わりを持たれてきた中尾まゆみさん(中津川市役所 政策推進部 広報広聴課)と、この4月から神奈川県職員として働く宮内美和さん(横浜国立大学4年生)をお迎えし、参加者みんなで「こうすれば地域が元気になる！」を考えてみました。

第4回は「地域医療はこうやって支える！」or「私の留学のテーマ！」を見いだすことを目的に、2月12日(火)に実施しました。小栗早織さん(あいち小児保健医療総合センター)、梶田知沙さん(東濃厚生病院リハビリテーション科)、平岡咲奈さん(大阪府立大学1回生)の3名の話に大変興味をもった参加者の高



校生は、田舎塾終了後も、約45分にわたり質問を投げかけていました。

音楽部

平成30年10月24日に恵那文化センターにおいて、「第1回喜多郎東美濃コンサートin恵那」が開催されました。本校音楽部が、世界的なシンセサイザー奏者、喜多郎氏と彼の編曲による『Italian Song』で共演しました。



本校OBである佐々木元司氏と喜多郎氏とのご縁からこの共演が実現し、当日は大勢の観客が駆けつけてくださいました。このステージの中で、今年のNHK朝の連続テレビ小説「半分、青い。」のテーマソングである『アイデア』(星野源作曲)を喜多郎氏と長年キーボードでツアーを回られた海老原真二氏とも共演しました。

音楽部員とのステージの後、喜多郎氏のシンセサイザーで奏でられる『シルクロード』や『古事記と宇宙』などの往年の名曲を聴くことができました。

高校生料理コンクール 全国最優秀賞



▲喜多郎氏とのリハーサル

科学部ロボカップ 全国大会へ

平成31年2月10日(日)大垣市のソフトピアジャパンセンターにおいて「ロボカップジュニア2019岐阜ブロック大会」が開催され、恵那高校科学部の生徒7名が参加し日本リーグ・レスキュー部門で優勝しました。平成31年4月28、29日に和歌山県で開かれる全国大会ジャパンプンに参加します。



全国高等学校家庭クラブ連盟(FHJ)主催「日清製粉グループ協賛の「全国高校生料理コンクール」において、理数科2年秋山絢香さんが最優秀賞を受賞しました。受賞作品は「ごへいピザ」。

NHK連続テレビ小説「半分、青い。」で全国的に有名になったこの地方の郷土料理五平餅をピザにアレンジしたことで最優秀賞を射止めました。11月17日には日清製粉本社(群馬県)で表彰式が行われました。レシピは日清製粉のホームページに掲載されていますので、料理上手な方はぜひ試してみてください。

秋山さんのコメント「地域の郷土料理である五平餅が廃れてしまうのは寂しいと感じたので、現代の人になじみのあるピザという料理にアレンジをしてみたらどうかと思ったのがこの料理を作ったきっかけです。今回私がこの賞を受賞



したことで友達や、周りの人が興味を持ってくれて、是非食べてみたいと言ってくれたことがとても嬉しかったです。」

事務局より会員の皆様へ

1 本年度も皆様の温かいご支援のもと、城陵第19号を発行することができましたことを衷心より御礼申し上げます。

会員の皆様におかれましては、事務局あてに御消息をお知らせ願う用紙が同封されており、お電話またはファックスでも結構ですので、異動がありました場合にはご一報くださいますと幸いです。よろしくお願い申し上げます。

電話・ファックス

057312510253

2 本年度の同窓会総会・懇親会は5月18日(土)午後4時30分から、恵那峡グランドホテルにて行います。会員の皆様におかれましては、ぜひご出席いただきたくご案内申し上げます。

なお、同窓会総会・懇親会は、毎年5月第3土曜日に恵那峡グランドホテルで開催することとなっております。